

湘南鎌倉医療大学大学院

入学試験要項

2027

看護学研究科 看護学専攻

博士前期課程

修士論文コース／助産学コース
看護管理学コース

博士後期課程



学校法人 徳洲会



湘南鎌倉医療大学

〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎 1195-3

TEL: 0467-38-3106 FAX: 0467-38-3110

Mail: nyushi@sku.ac.jp

URL: <https://www.sku.ac.jp>

CONTENTS

1 大学院の目的	P2
2 養成する人材像とアドミッション・ポリシー	P2
3 出願から入学手続きまでの流れ	P3
4 領域・募集人員・標準修業年限・学位	P3
5 入試日程	P4
6 事前相談（必須）	P4
7 入試概要（一般入試・推薦入試）	P4
8 インターネット出願ガイド	P10
9 試験に関する諸注意	P17
10 合格発表	P21
11 入学手続	P22
12 奨学金制度	P23
13 研究指導教員の主な研究テーマ及び事前相談連絡先	P24
14 カリキュラム	P26
15 修了要件	P29

〈個人情報の取り扱いについて〉

志願者からの個人情報は、

- ①入試及び入試広報関連業務、②入学手続き業務、③奨学金手続き業務、④統計資料作成以外の目的には使用いたしません。

なお、本学受験者が感染症等に罹患していることが判明し、保健所等からの求めがあった場合、当該機関へ個人情報を提供する場合があります。予めご了承ください。

〈寄付金について〉

本学では教育研究条件の整備充実のために、寄付金を募集しています。ただし、すべて任意で、入学前には募集していません。

1 大学院の目的

本学は「生命だけは平等だ」という開学の理念に基づき「いつでもどこでも誰でもが最善の医療・ケアを受けられる社会の構築を目指し、日々研鑽する医療人を育成する」ことを目的として2020年4月に開学しました。

大学院では大学の理念・目的を基盤としてさらに深く、幅広く医療職として必要な自己研鑽を続け、医療分野の実践・研究・教育の発展に寄与する人材を育成します。

看護学研究科の目的

看護学研究科においては哲学的思考をもとに高い倫理観・人間性を培い、研究の視点を持った実践者として実践現場や社会における健康課題に対応できる能力を修得します。また卓越した研究者として指導的立場に立ってリーダーシップを発揮し看護の質の改善・向上のために看護学の研究を発展的に推進する能力を修得します。さらに複雑に変貌する社会システムの構築について柔軟な判断力・思考力をもって寄与できる能力を修得します。

博士前期課程修士論文コースの目的

研究的視点を持った実践者としての能力をさらに進化させ看護専門職者として地域や多職種連携において保健医療の発展に貢献できる能力を修得します。

博士前期課程助産学コースの目的

人間のリプロダクション（性と生殖の営み）への理解を深め、豊かな人間性と科学的根拠に基づいた判断力・思考力を基盤に、変貌する地域社会のニーズに沿った助産学の発展と地域の母子及び家族の健康の保持増進に貢献できる能力を修得します。

博士前期課程 看護管理学コースの目的

急速に変化する社会情勢とそれに対応する保健・医療・福祉システムを管理の視点から分析し、看護管理上の課題を明らかにするとともに、看護サービスの質向上に寄与する看護管理のあり方を多角的に検討し、管理上の人的・物的・経済的資源を対象に看護管理実践に根差して実証的に研究する能力を養うことを目的とする。

博士後期課程の目的

幅広い視野と深い学識をもって自立して研究する能力を有し、看護の質の改善・向上のためにリーダーシップをとる能力を修得します。

2 養成する人材像とアドミッション・ポリシー

	博士前期課程	博士後期課程
人材像	以下のような人材を養成します 看護学における研究過程の遂行、リサーチエビデンスの教育・実践への活用、人間の生涯及び地域に対する看護の課題解決のために多職種・地域との連携ができる人	以下のような人材を養成します 看護学における幅広い視野と深い学識を基盤に自立して研究できる能力を備え、人間の生涯及び地域に対する看護の質の改善・向上のために教育・研究を通して発信できる人
アドミッション・ポリシー	I. 看護実践の場で生じる事象や課題を科学的に解明する意欲のある人 II. 各看護専門領域の知識、論理的思考力、英語論文の読解力を有する人 III. 看護学の教育・研究・実践に貢献することを志す人 IV. 助産学コースについては、I～IIIに加え、看護師免許を有し、助産実践を探究したいと考える人	I. 看護学の教育・研究に深い関心を持ち探求・研鑽し続ける意欲のある人 II. 研究を遂行する力として、論理的思考、表現力、英語論文の批判的読解力を有する人

※助産学コース、看護管理学コースの志願者は、P.9「10) 助産学コース、看護管理学コースの出願にあたっての注意点」を必ず確認してください。

3 出願から入学手続きまでの流れ

出願から入学手続きまでの流れは以下のとおりです。

- 1) 志望する入試区分の日程を確認する
P.4「5 入試日程」、「6 事前相談（必須）」を参照
- 2) 入試の内容を確認する・出願に必要な書類を準備する
P.4～P.9「7 入試概要」を参照
P.11 **STEP 1** 「出願に必要な書類等を準備」を参照
- 3) 出願登録を行う・入学検定料を納入する
P.10～P.16「8 インターネット出願ガイド」を参照
P.14 **STEP 3** 「入学検定料を納入する」を参照
- 4) 出願時に必要な書類を出願用封筒に入れて郵送する
P.15 **STEP 4** 「出願書類を郵送する」を参照
- 5) 受験票を印刷する
P.15 **STEP 5** 「受験票を印刷する」を参照
- 6) 受験
P.17～P.20「9 試験に関する諸注意」を参照
- 7) 合格発表
P.21「10 合格発表」を参照
- 8) 入学手続き
P.22～P.23「11 入学手続き」を参照

4 領域・募集人員・標準修業年限・学位

【博士前期課程】

修士論文 コース	基盤看護学分野	・看護管理学	6名 標準修業年限2年 取得できる学位 修士（看護学） （助産学コースは最大4名）
	生涯発達 看護学分野	・リプロダクティブヘルス看護学 ・小児看護学 ・成人看護学 ・老年看護学	
	広域看護学分野	・在宅看護学 ・公衆衛生看護学	
助産学 コース	取得できる資格	助産師国家試験受験資格	
看護管理 学コース	取得できる資格	認定看護管理者認定試験 受験資格	

【博士後期課程】

基盤看護学分野	・看護管理学	3名 標準修業年限3年 取得できる学位 博士（看護学）
生涯発達 看護学分野	・リプロダクティブヘルス看護学 ・小児看護学 ・成人看護学 ・老年看護学	
広域看護学分野	・在宅看護学 ・公衆衛生看護学	

5 入試日程

	入試区分	出願登録期間	出願書類 郵送締切日 (消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間 (消印有効)
学部生 推薦	推薦入試 (本学看護学部卒業 見込者のみ出願可)	2026年 7月9日(木) 7月17日(金)	7月17日(金)	7月26日(日)	7月31日(金)	7月31日(金) 8月10日(月)
Ⅰ期	一般入試	7月30日(木) 8月21日(金)	8月21日(金)	9月6日(日)	9月11日(金)	9月11日(金) 9月25日(金)
	推薦入試 (本学看護学部卒業 見込者は出願不可)					
Ⅱ期	一般入試	2027年 1月30日(土) 2月12日(金)	2月12日(金)	2月23日(火・祝)	2月26日(金)	2月26日(金) 3月5日(金)
	推薦入試					

※入学検定料の払込期限は出願登録日の翌日 23:59 まで（ただし、出願登録最終日の入学検定料の払込は 16:00 まで）

※試験会場の詳細は、「試験に関する諸注意」(P.17) を参照してください。

※助産学コースは入学見込者が定員に到達次第、当該年度のその後の学生募集を締め切ります（その後の入試を実施しません）。その際は本学ホームページで速やかにお知らせします。なお、出願に当たっては P.9「10) 助産学コース、看護管理学コースの出願にあたっての注意点」を必ず確認してください。

6 事前相談（必須）

本学大学院に出願しようとする者は、大学院入学後の履修計画や研究計画、実務経験等について、研究指導を受けようとする教員に出願前に相談する必要があります。入学後の研究・教育について相談をした上で出願してください。

- ・事前相談は随時受付していますが、出願書類の準備に影響するため、早めに行ってください。
P.24～P.25「研究指導教員の主な研究テーマ及び事前相談連絡先」を参照の上、希望する教員にメールで連絡し、予約を取ってください。事前相談に関するメール送信の際は必ず件名を「【大学院 事前相談】」としてください。メールの本文には①氏名、②連絡先（メールアドレス、電話番号）を記載してください。

メールを送信してから 5 日経過しても返信がない場合は、入試担当（電話：0467-38-3106 受付：平日 9:00～16:30）までお問い合わせください。

- ・事前相談にあたっては、「入学志願票」を本学入試情報サイト (<https://www.sku.ac.jp/admissions/>) よりダウンロードして事前に作成し、事前面談時に本学教員に提出してください。「入学志願票」は出願に必要な書類ですが、本学教員が押印後に直接本学入試担当へ提出するため、志願者による提出は不要です。

なお、出願しなかった場合も返却しませんので、予めご了承ください（本学にて適切に処分します）。

7 入試概要

1) 出願資格

一般入試の志願者は次の A のいずれかに該当し、事前相談を済ませた者

推薦入試の志願者は次の A のいずれかに該当し、且つ B を満たし、事前相談を済ませた者

出願資格A. 一般入試・推薦入試 共通の資格

【博士前期課程】

本大学院に出願できる者は、次の学歴要件、資格要件の各号いずれかに該当し、かつ本学が定める要件を満たす者とする。

学歴要件

- ①学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者、または当該年度に卒業見込みの者
- ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ③文部科学大臣が大学卒業と同等以上の学力があると認めた者
- ④外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者
- ⑥日本において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者
- ⑦外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑧指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者、または当該年度に修了見込みの者
- ⑨旧制学校等を修了した者
- ⑩防衛医科大学校、海上保安大学校、気象大学校等、各省大学校を修了した者または当該年度に修了見込みの者
- ⑪本学大学院において実施する個別の入学資格審査により学士の学位を有する者と同等以上の学力及び研究能力があると認めた 22 歳以上の者

資格要件

- ①助産学コースは看護師資格を有する女子、もしくは入学までに看護師資格を取得する見込みの女子（P.9「10）助産学コース、看護管理学コースの出願にあたっての注意点」も参照）
- ②看護管理学コースは看護師資格を有する者、もしくは入学までに看護師資格を取得する見込みの者

【博士後期課程】

- ①修士の学位や専門職学位を有する者、または当該年度に学位取得見込みの者
- ②外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または当該年度までに授与される見込みの者
- ③文部科学大臣が修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤日本において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑦本学大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力及び研究能力があると認めた 24 歳以上の者

出願資格B. 推薦入試の出願資格

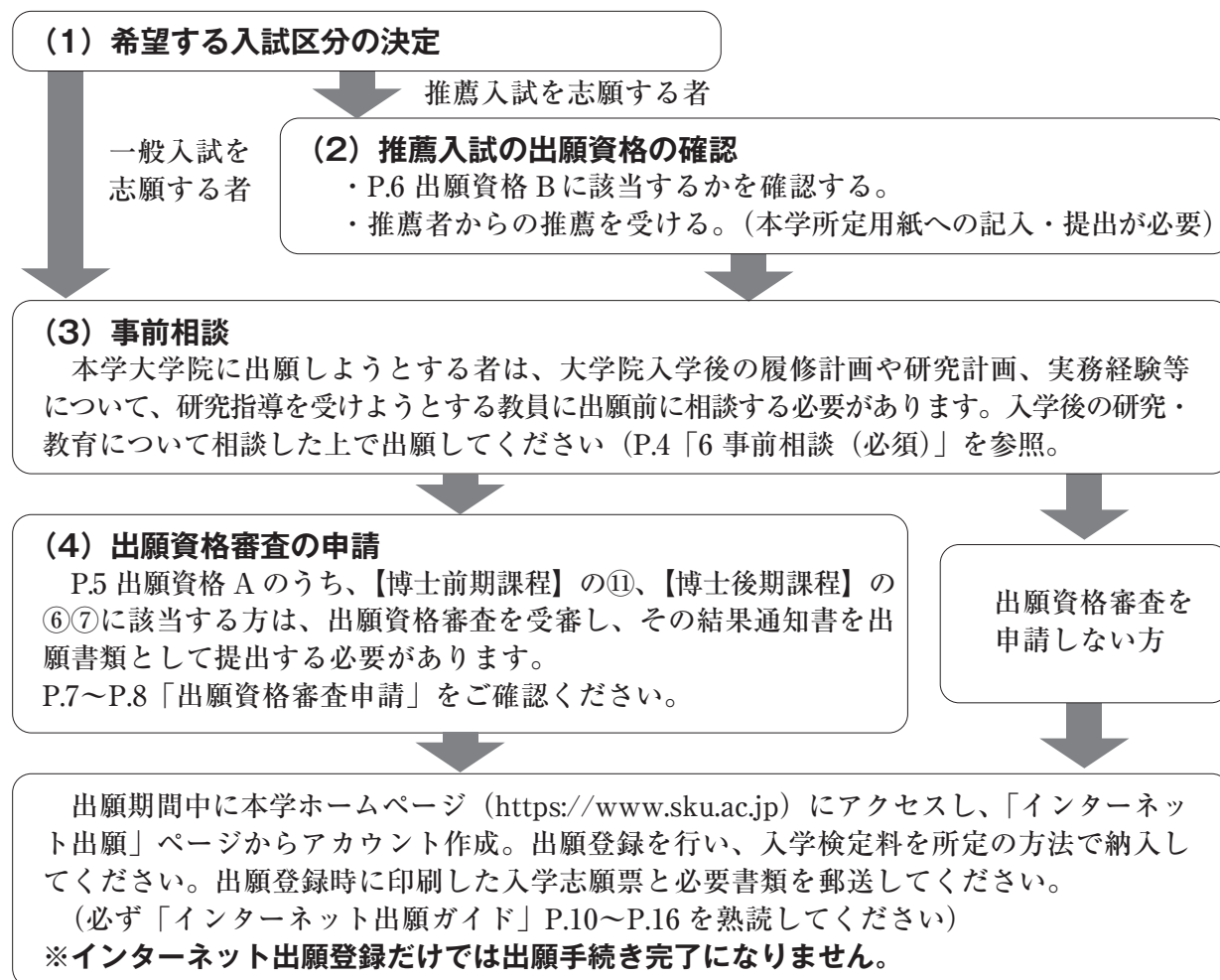
本学看護学部卒業見込者は次のア～ウを満たす者、それ以外の者は次のア～イを満たす者で、合格した場合必ず入学する者（専願）

ア：志願者が次のいずれかに該当すること	イ：次のいずれかの者からの推薦を得られること	ウ：次の成績基準を満たすこと
本学看護学部を卒業見込みの者	・ 本学の教員（研究指導を受けようとする教員以外）	3 年次後期までの通算 GPAが所定の基準に達していること（詳細は本学入試担当に確認してください）
本学看護学部を卒業した者	・ 本学の教員（研究指導を受けようとする教員以外） ・ 修了または修了見込みの本学以外の大学院博士前期課程の研究指導者（博士後期課程志願者のみ） ・ 所属機関（勤務先）の所属長	なし
本学大学院を修了見込みの者もしくは修了した者	・ 本学の教員（研究指導を受けようとする教員以外） ・ 所属機関（勤務先）の所属長	
本学が指定する保健医療・福祉関連機関に勤務する看護職者		
本学が指定する教育機関等に勤務する看護職者		

※イについて、推薦者として「本学の教員」を希望する場合について

- ・ P.24 ～ P.25 等も参考にしながら、個別に教員に連絡をとってください。必要に応じて面談等を行い、推薦の可否を判断します（教員の指示に従ってください）。
- ・ 該当する教員に心当たりがない場合は、本学入試担当までご相談ください。
- ・ 原則、推薦依頼は出願登録開始の2週間前までに完了してください。
なお、出願資格審査を希望する方は、出願資格審査申請期間の開始前に終わってください。
- ・ 事前相談をする本学の教員（研究指導を受けようとする本学の教員）と、推薦を得る本学の教員とは、別である必要があります。

2) 出願の流れ



3) 出願書類

P.11 ～ P.12 を参照してください。

4) 出願資格審査申請

P.4 ～ P.5 の出願資格 A の博士前期課程⑪または博士後期課程⑥⑦に該当する場合は、出願資格審査により出願資格認定を受ける必要があります。下記に基づいて申請をしてください。

(1) 出願資格審査日程

入試区分	申請期間 (期間内消印有効)	結果通知 (郵送)
学部生推薦	—	—
I 期	2026年 6 月 29 日 (月) ～ 7 月 7 日 (火)	7 月下旬頃～ 8 月上旬頃
II 期	2026年 12 月 1 日 (火) ～ 12 月 9 日 (水)	12 月下旬頃～ 1 月下旬頃

※審査の結果、出願資格ありと判定された場合、「P.7 2) 出願の流れ」等を参考に申請を進めてください。出願資格なしと判定された場合は、出願できません。

(2) 出願資格審査申請書類及び提出方法

出願資格審査に必要な書類は次のとおりです。

出願資格審査申請書(様式3)	本学ホームページよりダウンロード・印刷してください。
最終学校の卒業証明書	出身学校にて厳封されたものをそのまま提出してください。なお、出願審査を経て出願をする場合、出願時に最終学校の卒業証明書を新たに提出する必要はありません(出願資格審査のものを流用します)。
戸籍記載事項証明書 または戸籍抄本	結婚等で氏名が変わり、卒業証明書と氏名が一致しない場合のみ提出してください。 なお、役所では、改姓の事実を入れるよう申請しないと記載されませんのでご注意ください。 また、出願審査を経て出願をする場合、出願時に「戸籍記載事項証明書」または「戸籍抄本」を新たに提出する必要はありません(出願資格審査のものを流用します)。

この書類を次のどちらかの方法で郵送してください。

A：レターパックプラス

B：市販の角2封筒（簡易書留・速達）

(3) 出願資格審査申請書類提出先

〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎 1195-3 湘南鎌倉医療大学 入試担当宛

※表面に「出願資格審査申請書在中」と明記してください。

5) 選抜方法と試験時間割

1. 一般入試：以下の①～③の結果を総合的に判断し、選抜を行います。

①筆記試験：英語（博士前期課程 20点、博士後期課程 40点）

保健医療・医学系の英語論文を用い、部分訳や要約等の設問にて英語の読解力を評価します。

辞書・電子辞書は持ち込み可とします。

※電子辞書は、英語辞書以外の機能を持つものは持ち込みできません。

②筆記試験：専門科目（博士前期課程 80点、博士後期課程 60点）

領域に関連した論述内容から専門領域における見識、論述力を評価します。

③面接試験及び出願書類審査（50点、30分程度）

入学目的の明確さと学修意欲、専門領域に関する見識、論理的思考力・表現力等を評価します。

【博士前期課程の時間割】

試験室入室時間	1 時限目	2 時限目	昼休み	3 時限目
8:00~8:30	9:00~10:00	10:30~12:00	12:00~13:00	13:00~
当日は 8:00 開場	英語	専門科目	昼食	面接試験

【博士後期課程の時間割】

試験室入室時間	1 時限目	2 時限目	昼休み	3 時限目
8:00~8:30	9:00~10:30	11:00~12:30	12:30~13:30	13:30~
当日は 8:00 開場	英語	専門科目	昼食	面接試験

2. 推薦入試：以下の①～②の結果を総合的に判断し、選抜を行います。

①出願書類審査（100点）

②面接試験（50点、30分程度）

入学目的の明確さと学修意欲、専門領域に関する見識、論理的思考力・表現力等を評価します。

【博士前期課程の時間割】

面接控室入室時間	1 時限目
12:10~12:40	13:00~
当日は 12:10 開場	面接試験

【博士後期課程の時間割】

面接控室入室時間	1 時限目
12:40~13:10	13:30~
当日は 12:40 開場	面接試験

6) 入学検定料

30,000 円

*一旦納入された入学検定料は、理由の如何を問わず返還できません。

7) 試験会場

湘南鎌倉医療大学（P.17 を参照）

8) 遅刻について

「9. 試験に関する諸注意」の「4) 遅刻」（P.18）を参照してください。

9) 長期履修制度（助産学コース以外）

職業を有する等の理由により学修が困難な学生には、計画的に教育課程を履修し研究ができるよう長期履修制度を設けています。長期履修生の標準修業年限について、博士前期課程は3年、博士後期課程は4年となります。なお助産学コースは適用外となります。

必要書類	備考
長期履修申請書(様式第1号) 在職証明書(職業を有している者)(様式第2号) 長期履修申立書(特別な事情のある者)(様式第3号)	P.11～P.12を参照してください。

- ・出願時に申請してください（出願後の申請は認めません）。
- ・申請すれば必ず許可されるものではありません。審査により不可となる場合もあります。
原則として、合格発表時に長期履修申請についての審査結果を通知します。
- ・長期履修制度の修業年限変更は原則認めません。

10) 助産学コース、看護管理学コースの出願にあたっての注意点

助産学コースまたは、看護管理学コースを希望する者は以下の点を十分理解した上で出願してください（出願した者は理解したものとして取り扱います）。

- ・入学時までに看護師国家試験に合格していることを入学の条件としており、入学手続き時または入学時に、看護師免許の写しもしくは看護師国家試験合格証の写しの提出が必要です。
- ・入学時までに看護師国家試験に合格していない場合は入学を許可しません（入学許可を既に出した場合や入学した後であっても取り消します）。また振り込んだ入学金の返還も行いません。

8 インターネット出願ガイド

願書取り寄せ不要!
カンタン! スムーズ!
24 時間いつでも出願可能!



パソコン
タブレット
スマホから
利用できます。

はじめにご確認ください

■必要なインターネット環境

パソコン	Windows : Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox
	MacOS : Safari
スマートフォン タブレット	Android : 12.0 以上 iOS : 15.0 以上

※iPhoneの場合、Safariで操作してください。

※ブラウザの設定について

どのウェブブラウザでも、以下設定を行ってください。

- ・ JavaScript を有効にする。
- ・ Cookie を有効にする。

※セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますので注意してください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。

※メールアドレスについて

ユーザー登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（Gmail や Yahoo! メール等）や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン（@sku.ac.jp、@postanet.jp）を受信指定してください。出願登録完了時・入学検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

■インターネット出願による出願の流れ

- STEP 1** 出願に必要な書類等を準備
- STEP 2** アカウント作成、出願登録を行う
(クレジットカード払いを選択した場合はSTEP4へ)
- STEP 3** 入学検定料を納入する (コンビニ・ペイジー払いを選択した場合のみ)
- STEP 4** 出願書類を郵送する
- STEP 5** 受験票を印刷する
- STEP 6** 受験

※インターネット出願にあたり、顔写真のアップロードが必要となりますので事前に準備してください。(出願前3か月以内に撮影したもの、正面上半身、無帽、背景なし、鮮明なもの)

STEP 1 出願に必要な書類等を準備

1) 必要書類一覧

本学様式 No. (※1)	提出書類名	博士前期課程		博士後期課程	
		一般入試	推薦入試	一般入試	推薦入試
1	入学志願票	○ (※2)	○ (※2)	○ (※2)	○ (※2)
2	入学推薦書		○ (※3)		○ (※3)
3	志望理由書	○	○	○	○
4	履歴書	○	○	○	○
5	職務経歴書	○	○		
6	研究業績書			○	○
7	事例・実践報告書	○	○		
8	研究計画概要			○	○
	卒業(見込)証明書 修了(見込)証明書	○	○	○	○
	成績証明書	○	○	○	○
	外部英語試験成績を 証明する書類	該当者のみ提出	該当者のみ提出	該当者のみ提出	該当者のみ提出
9	出願資格審査結果の 通知書の写し	該当者のみ提出	該当者のみ提出	該当者のみ提出	該当者のみ提出
10	受験承諾書	該当者のみ提出	該当者のみ提出	該当者のみ提出	該当者のみ提出
	戸籍記載事項証明書 または戸籍抄本	該当者のみ提出	該当者のみ提出	該当者のみ提出	該当者のみ提出
長1	長期履修申請書	長期履修	長期履修	長期履修	長期履修
長2	在籍証明書	希望者のみ提出	希望者のみ提出	希望者のみ提出	希望者のみ提出
長3	長期履修申立書	(3つとも)	(3つとも)	(3つとも)	(3つとも)

- ※1 本学様式No.のある書類は、本学入試情報サイト (<https://www.sku.ac.jp/admissions/>) よりダウンロードし、作成してください。
- ※2 「入学志願票」について、志願者が事前に作成し、事前面談時に本学教員に提出してください。本学教員が押印後に直接本学入試担当へ提出するため、志願者による提出は不要です。なお、出願しなかった場合も返却しませんので、予めご了承ください(本学にて廃棄します)。
- ※3 「入学推薦書」について、本学教員が推薦者の場合は、推薦者が作成し直接本学入試担当へ提出するため、出願時に志願者が提出する必要はありません。
- ※4 助産学コースの志願者は、入学試験に合格後、入学手続時または入学時に、看護師免許の写しもしくは看護師国家試験合格証の写しの提出が必要です(出願時は提出不要です)。

8 インターネット出願ガイド

2) 書類の詳細

本学様式 No.	提出書類名	内 容
1	入学志願票	事前相談前に必要事項を入力し、写真欄に志願者本人の顔画像データ(出願3か月前に撮影したもの、正面上半身、無帽、背景なし、鮮明なもの)を貼り付け、プリントアウトした上で事前相談を行う本学教員(研究指導を受けようとする教員)に提出してください(パソコン等による入力ないし手書き、どちらでも可。印刷した写真の貼り付けも可)。その後、本学教員が事前相談済みの押印を済ませ、本学教員から本学入試担当に直接提出します。なお、出願しなかった場合も返却しませんので予めご了承ください(本学にて適切に処分します)。
2	入学推薦書	必要事項を入力し、プリントアウトの上、推薦者が押印・厳封したものを提出してください(パソコン等による入力と手書き、どちらでも可)。本学教員が推薦者の場合は、推薦者が直接本学入試担当へ提出するため、出願時に志願者が提出する必要はありません。推薦者が本学教員以外の場合は、推薦者が押印・厳封したものを志願者が提出してください。
3	志望理由書	必要事項を入力し、プリントアウトして提出してください(パソコン等による入力ないし手書き、どちらでも可)。
4	履歴書	
5	職務経歴書	
6	研究業績書	
7	事例・実践報告書	
8	研究計画概要	
	卒業(見込)証明書 修了(見込)証明書	最終学歴の出身学校が作成・厳封したものを提出してください(3か月以内に発行されたもの)。本学看護学部を卒業した者及び卒業見込みの者、本学大学院を修了した者及び修了見込みの者については、提出不要です(様式1 入学志願票に学籍番号を忘れずに記入してください)。また、出願資格審査を経て出願する場合、出願資格審査のものを流用しますので、新たに提出は不要です。
	成績証明書	最終学歴の出身学校が作成・厳封したものを提出してください(3か月以内に発行されたもの)。本学看護学部を卒業した者及び卒業見込みの者、本学大学院を修了した者及び修了見込みの者については、提出不要です(様式1 入学志願票に学籍番号を忘れずに記入してください)。
	外部英語試験成績を証明する書類	TOEFL(iBT)、TOEFL(PBT)、IELTS、TOEIC、実用英語技能検定の成績を証明する書類(スコア通知書の写し等)をお持ちの方は提出してください。※合否判定には使用しません。
9	出願資格審査結果の通知書の写し	P.4～P.5の出願資格Aのうち、博士前期課程の⑩または博士後期課程の⑥⑦により出願しようとする場合は、出願資格審査後に本学が発行する出願資格審査結果の通知書の写しを提出してください。
10	受験承諾書	勤務先がある場合、勤務先が入力し、プリントアウトの上、押印したものを提出してください(パソコン等による入力ないし手書き、どちらでも可)。
	戸籍記載事項証明書 または戸籍抄本	結婚等により、他の提出書類(旧姓)と現在の姓とが異なる場合、改姓の事実が記載されている戸籍記載事項証明書または戸籍抄本のどちらかを一緒に送付してください。なお、役所では、改姓の事実を入れるよう申請しないと記載されない場合がありますのでご注意ください。また、出願資格審査を経て出願する場合、出願資格審査のものを流用しますので、新たに提出は不要です。
長1	長期履修申請書	長期履修を希望する場合、必要事項を入力し、プリントアウトして提出してください(パソコン等による入力ないし手書き、どちらでも可)。
長2	在籍証明書	長期履修を希望する場合で、職業を有している場合、勤務先にて必要事項を入力し、プリントアウトして押印したものを提出してください(パソコン等による入力ないし手書き、どちらでも可)。
長3	長期履修申立書	長期履修を希望する場合、必要事項を入力し、プリントアウトして提出してください(パソコン等による入力ないし手書き、どちらでも可)。

STEP 2 アカウント作成、出願登録を行う

【アカウント作成】 下記手順に従ってアカウントの作成をしてください。

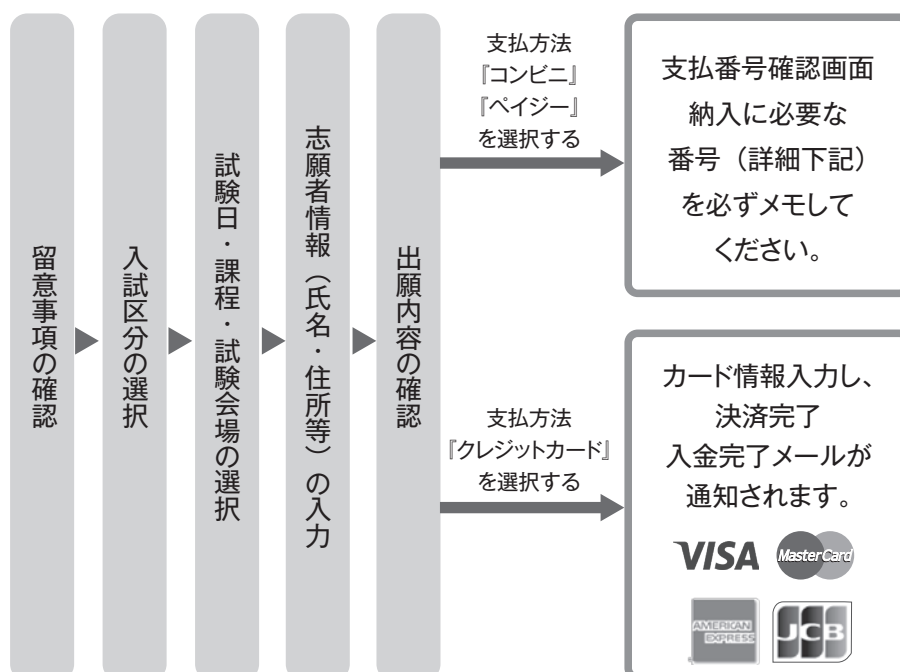
- ① 湘南鎌倉医療大学ホームページからアクセスしてください。
<https://www.sku.ac.jp/admissions>
- ② 下段にある「インターネット出願」をクリックして出願ページを開きます。
- ③ Post@net のログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック
- ④ 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードを入力して「登録」ボタンをクリック
- ⑤ 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- ⑥ 仮登録メールの受信から **60 分以内**にメール本文のリンクをクリックして登録を完了してください。
- ⑦ ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。



【ログイン】 下記手順に従ってログインし、お気に入り学校の登録をしてください。

- ① メールアドレス・パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- ② 「学校一覧」から「湘南鎌倉医療大学大学院」を選択してください。

【出願登録】 「出願登録」ボタンをクリック後、画面の指示に従って登録してください。



POINT①

志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。また、写真データも必要になります。

POINT②

支払い方法『コンビニ』『ペイジー』の場合は、支払番号確認画面に**納入に必要な番号**が表示されます。STEP 3の支払い時に必要ですので**必ずメモしてください**。

8 インターネット出願ガイド

STEP 3

入学検定料を納入する（コンビニ・ペイジーを選択した場合のみ）

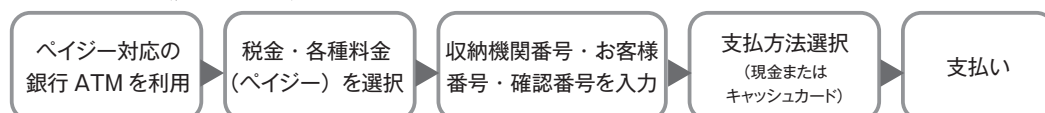
要注意

出願登録した翌日の23:59まで（出願登録期限日に出願登録した場合は当日の16:00まで）に、下記のとおり入学検定料を納入してください。上記の支払い期限を過ぎますと、登録された内容での入学検定料の納入ができなくなります。

■コンビニ

デイリーヤマザキ / ヤマザキ デイリーストア	ローソン / ミニストップ	セイコーマート	ファミリーマート	セブンイレブン
Web 画面に表示された「オンライン決済番号」	Web 画面に表示された「受付番号」	Web 画面に表示された「受付番号」	Web 画面に表示された「第1番号（企業コード）」 「第2番号（注文番号）」	「払込票」を印刷 または Web 画面に表示された「払込票番号」
↓	Loppi（ロッピー） 	↓ レジで「インターネット支払い」とお知らせください。 ※お客様側レジ操作画面に入力案内が出ますので、以下操作を行ってください。	マルチコピー機 	↓
↓	「各種番号をお持ちの方」ボタンを押す	「受付番号」を入力	「代金支払い/チャージ」ボタンを押す	↓
↓	「受付番号」を入力	「電話番号」を入力	「番号入力」ボタンを押す	↓
↓	「お申した電話番号」を入力	支払内容の確認画面が表示されるので、「OK」ボタンを押す	「第1番号（企業コード）」を入力	↓
↓	「申込券」発券	↓	「第2番号（注文番号）」を入力	↓
↓	発券から30分以内にレジへ	代金お支払い	注意事項を確認し、「同意して進む」ボタンを押す	↓
↓	↓	↓	支払内容を確認し、「確認」ボタンを押す	↓
↓	↓	↓	「申込券」発券	↓
↓	↓	↓	発券から30分以内にレジへ	↓
レジで番号をお知らせください				印刷した「払込票」を渡す または レジで番号をお知らせください。

■ペイジー（銀行 ATM）



■ペイジー（ネットバンキング）

収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え、各自で支払方法を確認し入学検定料を納入してください。

■システム利用料

入学検定料手数料	800円（税込）
----------	----------

- ・入学検定料の他に別途、システム利用料が必要です。
- ・銀行によって、別途事務手数料が発生する場合があります。
- ・一度納入した入学検定料は、理由の如何にかかわらず返金しません。
- ・入学検定料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

STEP 4 出願書類を郵送する

【出願書類の準備】

P.11～P.12を参照し、郵送にてまとめて提出してください。

推薦書や各種公的書類等は一般的に時間がかかりますので、早めに準備を進めてください。

※Post@netより入学志願票等の志願書類のダウンロードを求めるメールが配信されたり、画面上にボタンが表示されたりする場合がありますが、対応は不要です。

※受験票のみ、Post@net上からダウンロードします。(STEP5を参照)

【出願書類の郵送】

出願書類は以下 A・B のどちらかで郵送してください。

<A：レターパックプラスを用いる場合>

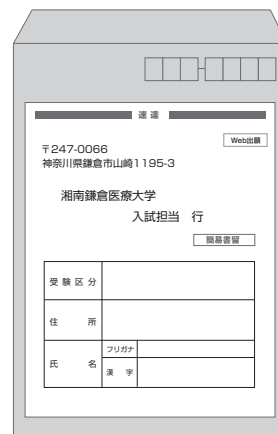
- ①必要書類を折らずに封入してください。
- ②宛先欄には以下を記入してください。

〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎 1195-3
湘南鎌倉医療大学 入試担当 行

- ③品名欄に「出願書類」と明記の上、入試区分を記入してください。
- ④保管用シールを剥し、投函してください。

<B：市販の角2封筒を用いる場合>

- ①必要書類を折らずに封入してください。
- ②印刷した「封筒貼付用宛名シート」を封筒に貼り付けてください。
- ③郵便局窓口から「簡易書留・速達」扱いで郵送してください。



市販の角2封筒を用いる場合、封筒貼付用宛名シートを貼り付けて必要書類を封入してください。

要注意

STEP1～STEP4を、すべて期限内に完了することによって、出願が正式に受理され、受験票が発行されます（受理等のご連絡は差し上げておりません）。

※出願登録・入学検定料納付・出願書類提出のいずれかが行われなかった場合は、出願が受け付けられません。

※出願期間を十分に確認の上、余裕をもって出願してください。

STEP 5 受験票を印刷する

【受験票準備】下記手順に従って受験票を印刷してください。

- ①必要書類の受理、入学検定料の入金が確認されると、出願期間後に「受験票ダウンロードメール」が届きます。
- ②Post@netへログインし「出願内容一覧」より湘南鎌倉医療大学大学院の「出願内容を確認」を選択し「受験票」をクリックして、PDFファイルをダウンロードします。（受験番号は受験票に記載されています。）
- ③②のPDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。
- ④試験当日に必ず受験票を持参してください。

※試験日の前日までに、受験票がダウンロードできない場合は

入試担当（電話：0467-38-3106 受付：平日9:00～16:30）まで連絡してください。

STEP 6 受験

試験当日は必ず印刷した受験票を持参してください。

■ インターネット出願に関する Q&A

Q

氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまいます。

A

氏名や住所等の個人情報を入力する際に、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになる場合があります。その場合は、代替の文字を入力してください。〈例〉高木→高木 山崎→山崎（ローマ数字）III→3

Q

ポップアップがブロックされ画面が表示できません。

A

GoogleツールバーやYahoo! ツールバー等ポップアップブロック機能を搭載しているツールバーをインストールしている場合、ポップアップ画面が表示されない場合があります。インターネット出願サイト Post@net のポップアップを常に許可するよう設定してください。

Q

登録時のメールアドレスを忘れてしまいました。

A

メールアドレスを忘れた場合、個人情報保護の観点から、電話やメール等でアカウント情報をお伝えすることができません。普段お使いのメールアドレスを登録していただくことを推奨します。

Q

コンビニ・ペイジーでの入学検定料の納入に必要な番号を忘れました。

A

Post@net ヘログインし「**出願内容一覧**」より湘南鎌倉医療大学大学院の「**出願内容を確認**」を選択すると、支払番号の確認画面についても再表示できます。
なお、支払期限を過ぎると、登録した内容での入学検定料の支払いができなくなります。

Q

出願登録後に出願内容を変更することはできますか？

A

入学検定料納入後の出願情報の変更は認めません。出願登録時に間違いが無いよう確認してください。クレジットカード支払いの場合、出願登録と同時に入学検定料の納入が完了しますので、特に注意してください。コンビニ・ペイジー支払いの場合は、入学検定料の納入前であれば、既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行うことで変更可能です。再度、出願登録を行った際の**アカウント情報**と納入に必要な番号を使って、出願書類の郵送と入学検定料の納入を行う必要があります。

※入学検定料納入後に出願情報の住所・氏名・電話番号等に誤りや変更が生じた場合は、**入試担当**（電話:0467-38-3106 受付:平日9:00~16:30）まで連絡してください。

Q

どうしても操作がうまくいきません。

A

以下のウェブサイトを参考にしてください。

よくあるご質問：

<https://home.postanet.jp/PortalPublic/QA/FAQ>

操作に関するお問い合わせ：

<https://home.postanet.jp/qa/QA/GeneralInquiryForm>



9 試験に関する諸注意

1) 試験会場

湘南鎌倉医療大学

住所 〒 247-0066 神奈川県鎌倉市山崎 1195-3



アクセス ・湘南モノレール「富士見町駅」下車 徒歩 6 分

・JR 東海道線 ・JR 横須賀線 ・JR 京浜東北線・根岸線「大船駅」下車 徒歩 20 分

<注意事項>

- ・ 交通機関、道順、所要時間を調べる等の確認をしてください。ただし、下見のために会場に入ることはできません。
- ・ 試験日を間違えないように、受験票で必ず確認してください。
- ・ 受験者用の駐車場はありません。公共交通機関を利用してください。
- ・ 上履きを持参する必要はありません。
- ・ 付き添い者は試験会場に入ることはできません。

2) 受験票

- ・試験会場入口で受験票を提示してください。また、試験当日は常に受験票を携帯してください。
- ・受験票を忘れた場合は本学係員にその旨を申し出て、受験票の再発行を受けてください。その際、本人確認ができるもの（運転免許証等）を提示してください。本人確認ができない場合は受験を認めないことがあります。
- ・受験票は合否確認の際に必要となりますので、必ず持ち帰り、大切に保管してください。

3) 入室時刻

- ・P.8～P.9の各入試区分の試験時間割に記載された入室時刻の間に、指定された試験室に入室し、机上の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。
- ・一般入試について、試験開始時間前に問題用紙を配布します。監督者の指示に従って集合時刻までに席について待機してください。

4) 遅刻

- ・一般入試の筆記試験について、試験室へ入室できるのは、各試験の開始から20分までです（遅刻限度）。ただし、試験時間の延長は認めません。また、1時限目を欠席した場合、2時限目以降受験することはできません。
- ・推薦入試について、面接控室へ入室できるのは、入室時間終了の20分後までです（遅刻限度）。
- ・試験当日は、電車遅延、道路渋滞、交通スト、悪天候等にかかわらず、原則として試験開始の時間どおりに行います。なお、試験開始前には試験における注意事項等の説明があるため、集合は試験開始時間ではなく、必ず入室時間に間に合うように余裕を持って入場してください。ただし、交通機関が大幅に乱れ、大多数の受験者（少数範囲はその限りではない）の来場に大きな影響があると判断した場合等、開始時間を繰り下げる等の措置を取ることがあります。

5) 退室

- ・一般入試の筆記試験について、試験時間内の答案提出、退室は認めません。試験中の発病等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも試験室以外での受験はできません。また、一時退室をした場合の試験時間の延長は認めません。

6) 受験上の注意

受験票のほかに机の上に置けるものは以下のとおりです。それ以外で、使用する必要のあるものは試験開始前に、試験監督者に申し出てください。

①一般入試の筆記試験中、机の上に置けるもの

- ・HB鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、またはHBシャープペンシル
- ・消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式を除く）
- ・時計（計時機能だけのもの）

時刻を表示する以外の機能をもつもの、ウェアラブル端末は不可です。

- ・辞書、電子辞書（英語の試験のみ使用可能となります）
- ・眼鏡（出願時に提出した“写真票”の写真が眼鏡着用の場合、必ず持参してください）
- ・上記以外のものを使用したり、身につけたりしていることが発覚した場合、失格となります。

②一般入試の筆記試験中に使用できないもの

- ・下敷き
- ・そろばん、電卓等の計算器具
- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等も含む）
- ・コンパス
- ・耳栓
- ・英文字や地図等がプリントされている服等
- ・上記のもの以外でも試験監督者より使用を禁じられたものは使用できません。

③携帯電話・スマートフォン等

- ・携帯電話やスマートフォン等の電子機器通信機器類は必ずアラームを解除し、電源を切っておかばん等に入れてください。
- ・面接試験中及び面接控室等での待機時間においても使用できません。

④その他

- ・試験中は、監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。
- ・不正行為者には退室を命じ、失格とします。
- ・試験会場及び試験室において、他の受験者の迷惑となるような行為を禁止します。
- ・試験会場はすべて禁煙です。

7) 昼食

- ・一般入試については、試験は終日となりますので、昼食をご用意ください。
- ・試験会場に入場した後は、試験が終了するまで試験会場の外に出ることはできません。
- ・試験当日は学生食堂の営業はしていません。

8) 受験当日の健康に関する注意

- ・試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水ぼうそう等）に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います（ただし、病状により学校医、その他の医師において伝染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません）。
- ・上記によりⅠ期の入学試験を受験できなかった場合は、所定の手続きを取ることで、Ⅱ期の受験者として振替えることができます（追加の入学検定料は徴収しません）。
- ・なお、Ⅱ期を受験しない場合、入学検定料の返還はしません。該当することとなった場合、速やかにご連絡ください。

- ・提出書類：診断書（感染症等に罹患したため、当日の試験を受験できなかったことの記載が必要）
- ・事情により診断書の提出が難しい場合等は相談してください。なお、調査書等の出願書類の再提出は不要です（I期のものを流用します）。
- ・連絡先：入試担当（電話：0467-38-3106 受付：平日 9:00 ～ 16:30）
それ以外の入学試験の場合は、追試験やその他の日程への振替えの措置、及び入学検定料は返還しません。試験当日の体調管理には、十分に注意してください。

9) 受験及び入学後の修学への配慮について

- ・受験及び入学後の修学について特に配慮を必要とする（必要とする可能性がある）場合は、事前に相談に応じますので、入試担当（電話：0467-38-3106 受付：平日 9:00 ～ 16:30）まで必ず電話でご連絡ください。
- ・事前相談のため、必要に応じて健康診断書等の提出を求める場合があります。
- ・出願はこの相談が終了した後に行ってください。
- ・必ずしも希望する内容に対応できるとは限りませんので、予めご了承ください。また、事前相談なく出願以降に申し出があった場合、希望する内容に対応できない場合があります。
- ・各入試区分の出願開始日の2ヶ月前までにご連絡ください。

10) その他

- ・試験室に忘れ物をした等の場合、試験当日は試験監督者に申し出てください。
- ・試験日以降は入試担当（電話：0467-38-3106 受付：平日 9:00 ～ 16:30）に連絡してください。
- ・本学では宿泊施設の斡旋は行っておりません。宿泊を必要とする方は、各自で手配してください。
- ・緊急に連絡を要する案件が発生した場合、以下の方法で志願者に連絡をします。志願者は試験前や試験当日に確認するようにしてください（内容によっては、未確認・未対応についての救済には応じることができない場合があります）。

①本学ホームページ

トップページの「News お知らせ」<https://www.sku.ac.jp>

②電子メール

インターネット出願手続の際に登録されたメールアドレス宛に電子メールを送ります。確実に受信・確認ができるメールアドレスを登録するようにしてください。また、ドメイン「@sku.ac.jp」が受信できるように予め設定しておいてください。

③電話（個別に連絡が必要な場合のみ）

インターネット出願手続の際に登録された電話番号宛に電話をします。確実に連絡がとれる電話番号を登録するようにしてください。また、本学の電話番号「0467-38-3131」や「0467-38-3106」が着信できるように予め設定しておいてください。

10 合格発表

1) 発表方法

(1) 郵送による合格発表

合格者には、合格通知書と入学手続き類一式を速達で郵送します。なお、不合格者には郵送しません。合格発表日に発送しますので、到着は発表日の翌日以降になることがあります。

(2) インターネットによる合格発表

- ・Post@net へログインし「出願内容一覧」より湘南鎌倉医療大学大学院の「合否結果照会」を選択します。
- ・受験内容を確認し間違いなければ「はい」をクリックして、合否結果を確認してください。
- ・合格発表日の 11：00 から 2 日後の 23：00 までの間、確認することができます。

(3) 電話やメール等による合否の問い合わせには一切応じません。

11 入学手続

1) 入学手続

- (1) 合格者は、合格通知書と同封されている入学手続要項を熟読の上、入学手続を行ってください（詳細は合格者にお知らせします）。入学手続期間内に手続書類の提出及び学費の納入等の所定の手続きを行わなかった場合は、入学の意思がないものとみなします。
- (2) 入学手続期間は P.4 「5 入試日程」を参照してください。

2) 入学金・学費

(1) 助産学コース以外の学費

【長期履修制度を適用しない場合の学費 博士前期課程・博士後期課程】

	初年度	次年度以降	博士前期課程 総計	博士後期課程 総計
入学金	300,000 円	—	300,000 円	300,000 円
授業料	700,000 円	700,000 円	1,400,000 円	2,100,000 円
施設設備費	100,000 円	100,000 円	200,000 円	300,000 円
合計	1,100,000 円	800,000 円	1,900,000 円	2,700,000 円

※学費の分割納入

学費は原則一括納入です。ただし、入学手続期間中に所定の手続きを行うことで、学費の分割納入が可能となります（入学手続時 700,000 円、入学後 400,000 円）。手続方法の詳細は合格者にお知らせします。

【長期履修制度適用後の学費 博士前期課程】

	入学金	学生納付金		合計
		前期	後期	
1 年 目	300,000 円	270,000 円	270,000 円	840,000 円
2 年 目		265,000 円	265,000 円	530,000 円
3 年 目		265,000 円	265,000 円	530,000 円
計				1,900,000 円

※学費の分割納入

学費は原則一括納入です。ただし、入学手続期間中に所定の手続きを行うことで、学費の分割納入が可能となります。（入学手続時 570,000 円、入学後 270,000 円）。手続方法の詳細は合格者にお知らせします。

【長期履修制度適用後の学費 博士後期課程】

	入学金	学生納付金		合計
		前期	後期	
1 年 目	300,000 円	300,000 円	300,000 円	900,000 円
2 年 目		300,000 円	300,000 円	600,000 円
3 年 目		300,000 円	300,000 円	600,000 円
4 年 目		300,000 円	300,000 円	600,000 円
計				2,700,000 円

※学費の分割納入

学費は原則一括納入です。ただし、入学手続期間中に所定の手続きを行うことで、学費の分割納入が可能となります。（入学手続時 600,000 円、入学後 300,000 円）。手続方法の詳細は合格者にお知らせします。

(2) 助産学コースの学費（長期履修制度は適用外となります。）

	初年度	次年度以降	助産学コース総計
入学金	300,000 円	—	300,000 円
授業料	800,000 円	800,000 円	1,600,000 円
実習費	500,000 円	500,000 円	1,000,000 円
施設設備費	100,000 円	100,000 円	200,000 円
合計	1,700,000 円	1,400,000 円	3,100,000 円

※学費の分割納入

学費は原則一括納入です。ただし、入学手続期間中に所定の手続きを行うことで、学費の分割納入が可能となります。（入学手続時 1,000,000 円、入学後 700,000 円）。手続方法の詳細は合格者にお知らせします。

上記学費とは別に総合補償制度「will2」保険料 4,500 円（年額、2024 年度実績）離島等での実習関連費用（交通費・宿泊費等。2 年間の見込額約 30 万円、経済状況その他により変動します。）等が必要です。

3) 入学辞退に関する取扱い

- (1) 入学手続時に納付された入学金は、理由の如何にかかわらず返還しません。
- (2) 入学手続時に納付された入学金以外の学費は、入学手続後に入学を辞退する事情が発生し、下記の期限内に入学辞退を申し出た場合に限り返還します。期限後は理由の如何にかかわらず返還しません。
- (3) 上記の返還を希望する場合は「入学辞退届」用紙を入試担当（電話：0467-38-3106 受付：平日 9:00～16:30）へ電話で請求し、所定事項を記入の上、速やかに提出してください。電話以外は一切受け付けません。
- (4) 入学辞退の電話連絡期限：2027 年 3 月 31 日（月）12:00 まで
- (5) 入学辞退及び学費の返還は、推薦入試の合格者及び繰り上げ合格者には適用しません。
- (6) 学費の返還には一定の時間を要します。

12 奨学金制度

(1) 本学独自の奨学金制度

名称	給付額	人数	出願資格
入学金給付奨学生	入学金の 1/2	対象者全員	本学を卒業した者で、本学大学院博士前期課程または博士後期課程に入学した者
	入学金の全額	対象者全員	本学大学院博士前期課程を修了し、本学大学院博士後期課程に進学した者
給付奨学生	学費（入学金を除く）の 1/2 ※選考あり	毎年 2 名を限度	成績優秀で経済的援助が必要と認められる者（家計基準は日本学生支援機構貸与奨学金に依る）

(2) 公益財団法人徳洲会国際奨学財団の奨学金

学業、人物ともに優秀であって、将来活躍が期待される大学院生等を対象とした奨学金があります（尚、今年度の採用は未定です）。

(3) 日本学生支援機構の奨学金

ホームページ「<https://www.jasso.go.jp>」をご確認ください。

(4) 徳洲会グループ看護部の奨学金を受給中の本学看護学部生が、本学大学院に進学することになった場合、大学院在学期間中は、奨学金の返済が猶予されます。

13 研究指導教員の主な研究テーマ及び事前相談連絡先

【博士前期課程 修士論文コース】【博士後期課程】

分野	領域	教員名	主な研究テーマ	博士 後期	博士 前期	連絡先
基盤看護学分野	看護管理学	志田 京子	(博士前期課程・博士後期課程) ・ 中小規模病院看護管理者の特徴と課題に関する研究 ・ 組織の倫理的成熟を高めるためのプログラムの開発研究 ・ 組織開発に向けたシステム思考アプローチの導入に関する研究	○	○	shida.kyoko@sku.ac.jp
生涯発達看護学分野	リプロダクティブヘルス看護学	蛭田 明子	(博士前期課程・博士後期課程) ・ 周産期の喪失に関する研究 ・ 支援者支援に関する研究 ・ シミュレーション教育に関する研究	○	○	a.hiruta@sku.ac.jp
		高畑 香織	(博士前期課程) ※博士後期課程補佐 ・ 不妊症看護に関する研究 ・ 陣痛発来、母乳育児、分娩恐怖感等、助産ケアに関する研究		○	k.takahata@sku.ac.jp
	成人看護学	和田 美也子	(博士前期課程) ※博士後期課程補佐 ・ がん患者や家族への看護に関する研究 ・ 当事者の体験や看護職の取り組みに関する研究		○	m.wada@sku.ac.jp
	老年看護学	小林 小百合	(博士前期課程・博士後期課程) ・ 認知症高齢者のケアに関する研究 ・ 高齢者のQOL に関する研究	○	○	kobayashi.sayuri@sku.ac.jp
広域看護学分野	在宅看護学	小森 直美	(博士前期課程) ※博士後期課程補佐 ・ 看護師の継続教育に関する研究 ・ 療養者と家族に関する研究 ・ 入退院支援、日常生活支援に関する研究 ・ 多職種連携、協働に関する研究		○	n.komori@sku.ac.jp
	公衆衛生看護学	牧 千亜紀	(博士前期課程・博士後期課程) ・ 公衆衛生看護活動、保健師活動に関する研究 ・ 地域難病保健に関する研究 ・ 難病療養者のQOL に関する研究	○	○	maki.chiaki@sku.ac.jp

【博士前期課程 助産学コース】

教員名	主な研究テーマ
蛭田 明子	P.24と同じ
高畑 香織	P.24と同じ
櫻井 佐知子	タンザニア母子保健に関する研究

※事前相談は蛭田明子に連絡してください（P.24 参照）

【博士前期課程 看護管理学コース】

教員名	主な研究テーマ
志田 京子	P.24と同じ

P.24 及び上記に記載されている教員は研究指導教員です。論文作成に関して全般的な指導を行います。

※博士後期課程補佐の教員は研究指導教員を補佐し、学生の研究活動をサポートします。

※研究指導教員はやむを得ず変更となる場合があります。

14 カリキュラム

【博士前期課程】

〈修士論文コース〉

科目 区分	授業科目の名称		配当 年次	単位数		授業形態		
				必 修	選 択	講 義	演 習	実 験・ 実 習
共通 科目	看護学の実践と研究 特講Ⅰ		1前	2		○		
	看護学研究方法論Ⅰ（総論）		1前	2		○		
	看護倫理		1前	2		○		
	臨床哲学		1後	2		○		
	看護教育論		2前	1		○		
	地域生活看護論Ⅰ		1後		2	○		
	看護学研究方法論Ⅱ（統計解析）		1前	2		○		
	チーム医療論		1後		2	○		
	看護管理		1前		1	○		
	臨床疫学		1前		1	○		
	ヘルスケア経営論		1後		1	○		
	医療安全と組織文化		1前		1	○		
専門 科目	基盤看護学 分野科目 看護管理学 科目	看護管理学特論M	1前		2	○		
		看護管理学演習Ⅰ	1後		2		○	
		看護管理学演習Ⅱ	2前		2		○	
	生涯発達看護学 分野科目 看護学ヘルス ティプロダク ティブヘルス 科目 小児看護学 科目 成人看護学 科目 老年看護学 科目	リプロダクティブヘルス看護学特論M	1前		2	○		
		リプロダクティブヘルス看護学演習Ⅰ	1後		2		○	
		リプロダクティブヘルス看護学演習Ⅱ	2前		2		○	
		小児看護学特論M	1前		2	○		
		小児看護学演習Ⅰ	1後		2		○	
		小児看護学演習Ⅱ	2前		2		○	
		成人看護学特論M	1前		2	○		
		成人看護学演習Ⅰ	1後		2		○	
		成人看護学演習Ⅱ	2前		2		○	
		老年看護学特論M	1前		2	○		
		老年看護学演習Ⅰ	1後		2		○	
		老年看護学演習Ⅱ	2前		2		○	
	広域看護学 分野科目 在宅看護学 科目 公衆衛生看護学 科目	在宅看護学特論M	1前		2	○		
		在宅看護学演習Ⅰ	1後		2		○	
		在宅看護学演習Ⅱ	2前		2		○	
		公衆衛生看護学特論M	1前		2	○		
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1後		2		○	
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	2前		2		○	
	特別研究	看護学特別研究M	1～2通	8			○	

〈助産学コース〉

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実習
共通科目	看護学の実践と研究 特講Ⅰ	1前	2		○		
	看護学研究方法論Ⅰ（総論）	1前	2		○		
	看護倫理	1前	2		○		
	臨床哲学	1後	2		○		
	看護教育論	2前	1		○		
	地域生活看護論Ⅰ	1後		2	○		
	看護学研究方法論Ⅱ（統計解析）	1前	2		○		
	チーム医療論	1後		2	○		
	看護管理	1前		1			
	臨床疫学	1前		1			
	ヘルスケア経営論	1後		1	○		
	医療安全と組織文化	1前		1	○		
専門科目	生涯発達看護学科目	リプロダクティブヘルス看護学特論M	1 前	2	○		
	助産学科目	ウィメンズヘルス看護学特論	2前	2	○		
		ウィメンズヘルス看護学演習	2後	2	○		
		助産学特論Ⅰ	1前	2	○		
		助産学特論Ⅱ	1後	2	○		
		助産学特論Ⅲ	1通	2	○		
		助産学特論Ⅳ	2前	2	○		
		助産学概論	1前	1		○	
		基礎助産学Ⅰ	1前	1		○	
		基礎助産学Ⅱ	1前	1	○		
		基礎助産学Ⅲ	1前	1	○		
		基礎助産学Ⅳ	1後	1	○		
		基礎助産学Ⅴ	1前	1	○		
		助産診断・技術学演習Ⅰ	1通	2	○		
		助産診断・技術学演習Ⅱ	1通	4	○		
		助産診断・技術学演習Ⅲ	1通	1		○	
		助産診断・技術学演習Ⅳ	1後	2		○	
		助産診断・技術学演習Ⅴ	2通	1		○	
		助産学実習Ⅰ	1前	2		○	
		助産学実習Ⅱ	1後	5		○	
		助産学実習Ⅲ	1～2通	2			○
		助産学実習Ⅳ	1後	2			○
		助産学実習Ⅴ	2前	1			○
		地域助産学概論	2後	1			○
		地域助産学演習	2後	2			○
		助産管理学概論	1後	1	○		
		助産管理学演習	1後	1		○	
	課題研究	課題研究	2通	2		○	

〈看護管理学コース〉

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実験・実習
共通科目	看護学の実践と研究 特講Ⅰ	1前	2		○		
	看護学研究方法論Ⅰ（総論）	1前	2		○		
	看護倫理	1前	2		○		
	臨床哲学	1後	2		○		
	看護教育論	2前	1		○		
	地域生活看護論Ⅰ	1後		2	○		
	看護学研究方法論Ⅱ（統計解析）	1前	2		○		
	チーム医療論	1後		2	○		
	看護管理	1前	1		○		
	臨床疫学	1前		1	○		
	ヘルスケア経営論	1後	1		○		
	医療安全と組織文化	1前	1		○		
専門科目	看護管理学特論M	1前	2		○		
	看護管理学演習Ⅰ	1後	2			○	
	看護管理学演習Ⅱ	2前	2			○	
	管理者コース 実習	2前	4				○
	課題研究	2後	4			○	
	論文コース 特別研究	2前後	8			○	

【博士後期課程】

科目 区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業形態	
					必修	選択	講義	演習
共通科目		看護学研究法	1年	2		○		
		英語論文演習	1年	2			○	
		看護学の実践と研究 特講Ⅱ	1年		2	○		
		地域生活看護論Ⅱ	1年		2	○		
		理論看護学	1年	2		○		
		看護学の実践と研究 特講Ⅲ	1年		1	○		
		ヘルスサイエンス	1年		1	○		
専門科目	基礎看護学	看護管理学科目	看護管理学特論D	1年		2	○	
			看護管理学演習D	2年		2		○
	生涯発達看護学分野	リプロダクティブヘルス看護学科目	リプロダクティブヘルス看護学特論D	1年		2	○	
			リプロダクティブヘルス看護学演習D	2年		2		○
		小児看護学科目	小児看護学特論D	1年		2	○	
			小児看護学演習D	2年		2		○
		成人看護学科目	成人看護学特論D	1年		2	○	
			成人看護学演習D	2年		2		○
		老年看護学科目	老年看護学特論D	1年		2	○	
			老年看護学演習D	2年		2		○
	広域看護学分野	在宅看護学科目	在宅看護学特論D	1年		2	○	
			在宅看護学演習D	2年		2		○
		公衆衛生看護学科目	公衆衛生看護学特論D	1年		2	○	
			公衆衛生看護学演習D	2年		2		○
	特別研究		看護学特別研究D	1～3年	8			

※記載のカリキュラムは届出中のカリキュラムであり、一部変更となる可能性があります。

15 修了要件

- ・博士前期課程修士論文コース：2年以上在学し、授業科目について所定の単位数（30単位以上）を修得して、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
- ・博士前期課程助産学コース：2年以上在学し、授業科目について所定の単位数（63単位以上）を修得して、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
- ・博士前期課程看護管理学コース：2年以上在学し、授業科目について所定の単位数（30単位以上）を修得して、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
- ・博士後期課程：3年以上在学し、授業科目について所定の単位数（20単位以上）を修得して、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

